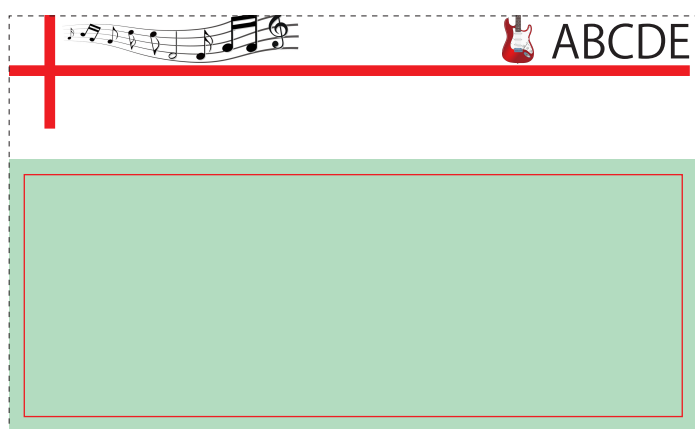
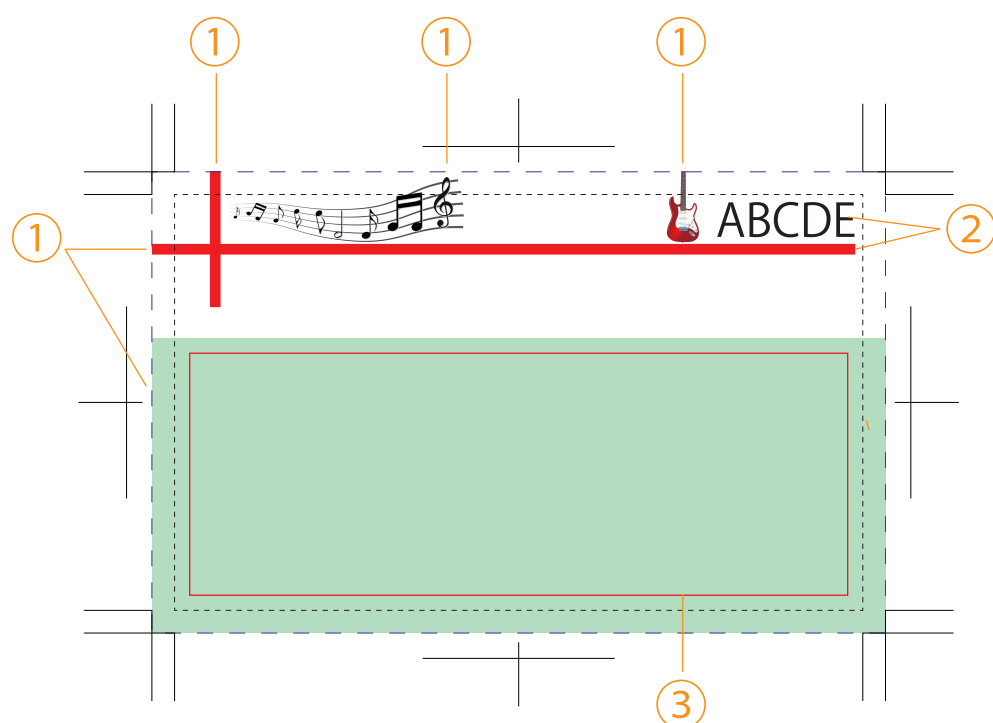
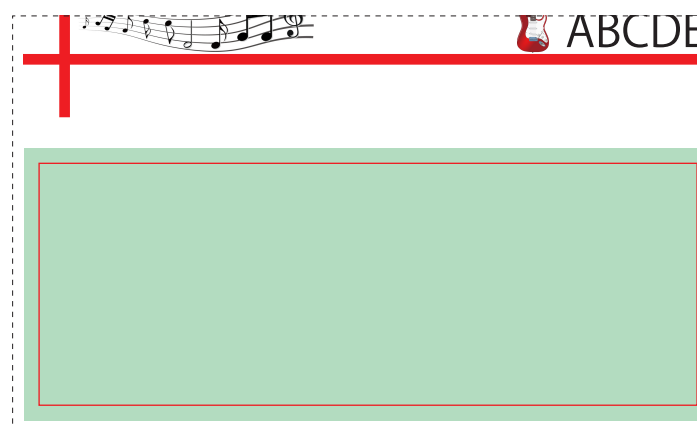


■ 塗り足しや四隅ギリギリの配置について

例えばこのようなイメージの物を作りたい場合
(名刺サイズ 91×55 mmを例にしています)



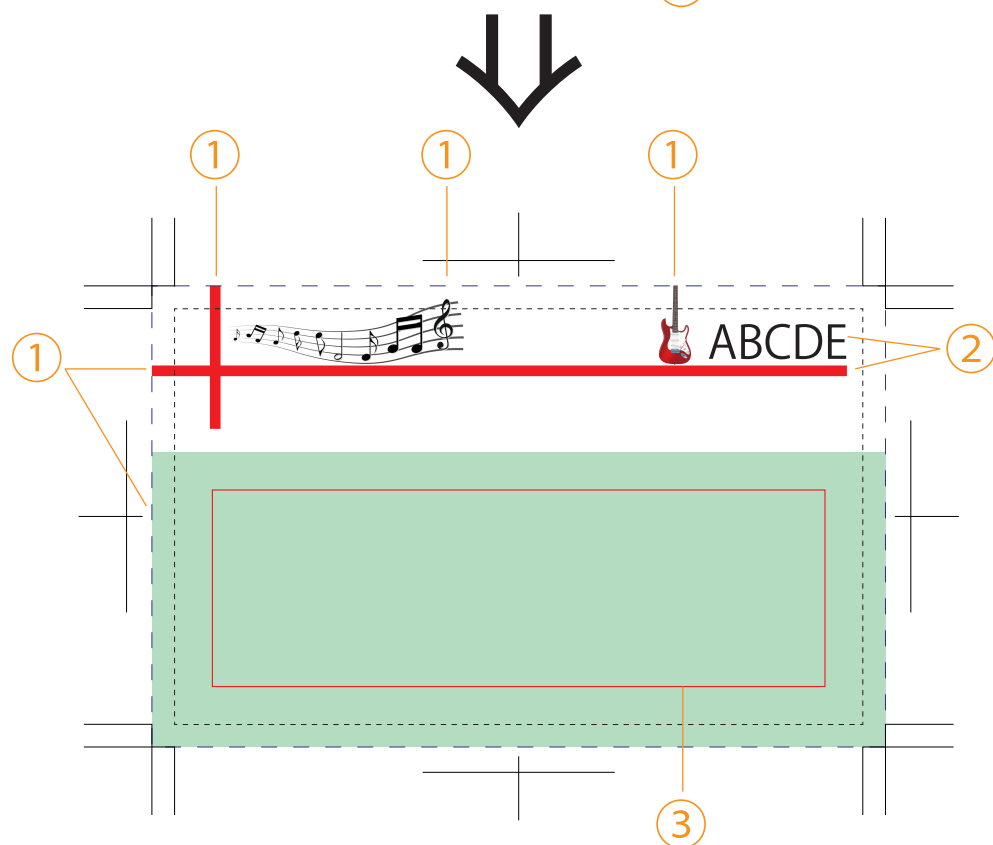
左のようなデータでそのまま印刷すると
このようになってしまう事が多々ございます！



仕上がりサイズの紙に印刷するのではなく、
大きな紙に複数並べて印刷し後から紙を切る為、
上下や左右に最大で 2 mm 弱ずれることがあります。
これは右上にそれぞれ 1.5 mm ずつずれた例です。
(実際はどの方向にずれるか定まっておりません)

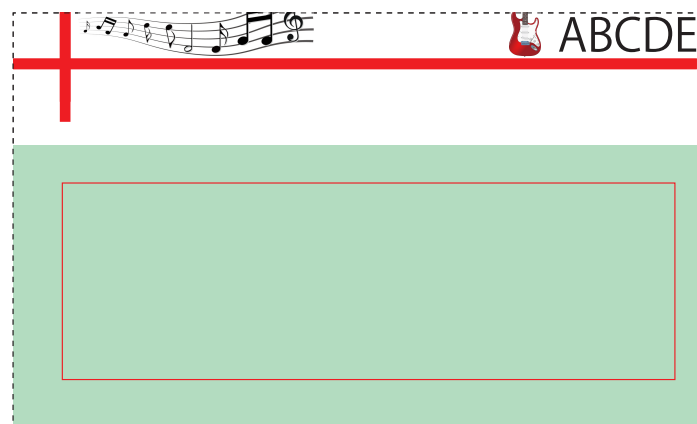
上記のようになるのを防止する為、
①で示した端まで途切れることなく印刷したい
箇所(背景や図、写真など)は黒点線で示した
仕上がりサイズの外側 3 mm (青点線) の範囲にも
残します。
音符のように元々 3 mm までは余分がない部分は
そのまま残します。
このような処理を「塗り足し」と言います。

日本の名刺サイズは
91×55 mm です！！



また、②で示した端に近い部分は、はみ出し防止の為、
このような箇所は端から 2 mm 以上離します。
更に③で示した罫線などは 2 mm 離してもずれが出た
場合、名刺のような小さい物は実際のずれ以上に
ずれが目立つ為、できれば 5 mm 以上端から離します。

このようにして頂ければ…



一番上の見本と同じように右上にそれぞれ 1.5 mm
ずつずれたとしても文字などが途切れることなく、
罫線のずれ(見た目)も軽減されます。

※当店の名刺印刷機の場合は、オモテ面の上下のずれに
限っては出にくい傾向があるので上記の条件程シビア
ではありませんが、パンフや大部数の名刺は工場印刷
となる為、上記条件を厳守して頂く必要があります。